

第10回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日 時 平成28年12月15日 (木曜日) 13:25~15:25
場 所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 グループホームご利用者代表
特別養護老人ホームご家族代表
小規模多機能型居宅介護ご家族代表
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)
長岡市栃尾支所市民生活課
小規模多機能型居宅介護わしま
地域包括支援センターとちお
法人代表 (いずみ苑園長)
法人代表 (いずみ苑事務長)
特別養護老人ホーム管理者
グループホーム管理者
小規模多機能型居宅介護管理者 / 計 12名

欠席者 知見者代表 (栃尾福祉会理事長)
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員)
長岡市介護保険課 / 計 3名

欠 員 特別養護老人ホームご利用者代表
小規模多機能型居宅介護ご利用者代表
グループホームご家族代表 / 計 3名

議事次第

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について
特別養護老人ホーム
グループホーム
小規模多機能型居宅介護
2. 事故及びヒヤリハットの報告について
3. 小規模多機能居宅介護事業所評価について
4. その他

開 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

お疲れ様です。予定時間より少し早いですが、皆さんお揃いになりましたので、これより第10回みやざわ苑運営推進会議を始めたいと思います。

本日は雪が降り、特に和島からは大変だったかと思います。よろしく願いいたします。

現在みやざわ苑では、感染症の予防で先週からマスクを着用しておりますが、施設内はインフルエンザ、ノロウイルス等感染症の発生はありませんし、風邪症状のかたもおられません。長岡保健所管内では警告レベルだそうですので、その予防のために、マスク着用、うがい、手洗い等徹底しています。

本日の会議は、小規模多機能居宅介護事業所評価がメインです。こちらに時間がかかるかと思しますので、経過報告及び入居者・利用者の状況、事故及びヒヤリハットの報告は、なるべくスムーズに進めたいと思います。

なお、前回第9回の運営推進会議の議事録が遅くなりました。本日添付をいたしました。大変失礼しました。

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について

- みやざわ苑行事等経過… 資料に沿って説明する

(別紙：地域密着型複合施設みやざわ苑行事等経過参照)

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ご覧のとおりですが、11月10日に水害想定避難訓練を行いました。考え方としては、2階の入居者はその場で待機、1階の入居者を2階に逃がす訓練でした。想定は日中でしたので職員数もいてスムーズに行きました。車椅子の入居者を階段を使って避

難させるのに、当初は2～3名の職員でできるかなと想定していましたが、職員4名が必要だったことが判明しました。また、1階の浸水が階段の踊り場まで来た場合は、2階の入居者も屋上に避難する形としました。

火災の場合は、垂直避難はしません。2階の入居者は2階のままで下屋やバルコニーで救助を待つことにしております。日中は職員がいますので垂直避難もできると思いますが、夜間は5人の中では無理があるので、そのように周知徹底しています。

○ 地域密着型複合施設みやざわ苑の状況 … 資料に沿って説明する

(別紙：地域密着型複合施設みやざわ苑の状況 平成28年12月15日現在参照)

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

特養は、定員29ですが現在28名です。－1名については、既に入居のかたは決まっています。平均要介護度4.1になりました。少しずつ重度化して来ています。

小規模多機能型居宅介護管理者

小規模は、解約のかたが2名、新規利用のかたが2名で登録人数は変わらず18名です。先日利用してみたいと言うかたがいましたので、ご家族に説明が終わり、お試し利用する予定です。

グループホーム管理者

グループホームの－1名は決まってはいるのですが、ご家族の都合で日程が未定です。

質 問・意 見

法人代表（いずみ苑園長）

特養、グループホーム、小規模、いずれも可能な限り早めに入居していただくようにお願いします。

2. 事故及びヒヤリハットの報告について

○ 事故・ヒヤリハットの報告 … 資料に沿って説明する

(別紙：事故・ヒヤリハットの詳細等資料2部参照)

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

特養の転倒、転落が多かったです。特に深夜帯に発生しており、それがどのようにし

て起きたか分からないものが多かったです。下2行が同じかたですが、このかたは歩行が非常に不安定ですが、徘徊をされるため、付き添い・見守りをしていますが、他の入居者対応中に目が届かない場合があります。それぞれに対応策を講じています。

前回も話題になりました薬の件ですが、再度誤薬が起きてしまいました。3事業所で集まり、検討したものを9ページにまとめました。検討後11/22～12月いっぱい「誤薬防止強化期間」とし、必ず同時刻に2名の目で確認することを徹底し実施しています。3事業とも同じ対応です。

小規模多機能型居宅介護管理者

1件転倒事故（尻もち）がありました。環境整備を行い、自立のかたにも目配りをしていましようかと周知しました。

グループホーム管理者

2件とも居室の中でのことです。NO.33は、日中居室にいられることが多いかたなので、どこで負傷したかは確認がとれていません。NO.30は、靴下を脱いでもらって就寝することを周知していましたが、対応した職員が異動して来たばかりで、周知が不徹底だったため、靴下を履いたままで動かされて転倒されました。誤薬予防にグループホームでは薬の一包化に協力してもらっています。

質 問・意 見

特別養護老人ホームご家族代表

グループホームが行っている朝・昼・晩と薬の一包化は非常に良いことだと思うので、全事業所でできないものでしょうか。

↓

グループホーム管理者

一包化されていますし、朝・昼・晩と袋の色も違いますので、間違い防止にはなるかと思いますが、有料のため全事業所は難しいと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

職員が安全を確保するために、危険箇所のパトロール等の確認等は行っていますか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

安全衛生委員会で月1回実施しています。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

小規模の事故報告で、ゴミ箱のサイズや置き場所等の改善案が出ましたが、日々の中で、職員が気付いた時にすぐ提案、取り上げられる体制になると良いと思います。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

しっかりとした仕組み自体がありませんので、対応していききたいと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

事故やヒヤリハットの年間の表について、数字が小さく少し見にくいいため、グラフ化すると目に見える形になると感じました。

3. 小規模多機能居宅介護事業所評価について

小規模多機能型居宅介護管理者

事前に、職員が行った事業所評価と地域かかわりシートを送付させていただきました。地域かかわりシートは集計しますので、会議終了後お手元に置いて行ってくださいますようお願いいたします。

… 小規模職員（評価：9名）が行った事業所評価1～9（参加：7名）の説明をする
（別紙：事業所自己評価・ミーティング様式参照）

—地域かかわりシート①A～Fについて、事前にチェックを入れてきてもらった該当部分「はい」「いいえ」「わからない」について、項目ごとに確認しながら挙手をしてもらう。その後、A～Fについて意見を募る。—

A. 事業所自己評価の確認についての意見

法人代表（いずみ苑園長）

6. 連携・協働について、「ほとんどできていない」が他の項目に比べて多かったのが気にかかりました。7、8、9についても項目によっては「ほとんどできていない」の人数が多いなと感じました。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

例えば6-1については、相談員とか管理者等外部の関係機関と連絡調整する職員は、「なんとかできている」になっていると思いますが、一般職員は外部の関係機関等と話す機会はない訳なので、そのような結果になっています。また、9-4については、実

際成年後見制度を活用されているかたはおられませんし、職員のとらえ方でチェックの判断が違って来ていることが、意見集約の時に聞けました。全体的に地域とのかかわりが少ないと思っています。

法人代表（いずみ苑事務長）

自分も内容が分からないので、職員が判断したことを基にして判断をしましたので、3は「いいえ」をつけさせてもらいました。4の改善計画については、いつから、いつまでに、誰が等、具体性が欠けていると思います。取り組みを前向きに進めるためには具体性が必要と思いました。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

個人的な傾向はないとは思いますが、提出された職員の評価に対する評価はされていますか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

そこまではできていません。今回の項目に対してのみ行いました。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

素人なので良く分かりませんが、皆さん、良く頑張っておられるなと感じました。

特別養護老人ホームご家族代表

小規模は多機能だからということだと思いますが、地域とのかかわりにばかり時間を取られてしまうと、職員は本当に大変だと思う。第三者から見ると、本来は利用者一人ひとりを大切に考えて支援することが大事だと思うが、どの程度までやれば良いのか？こちらには見えて来ない。

長岡市栃尾支所市民生活課

私も昨年から外部評価に携わり今回が2回目ですが、小規模多機能の利用者のニーズに対して、それを提供する職員の人員体制がどの事業所も大変な状況で運営されていると聞いています。そんな中でも、今回の事業所自己評価のシートを見させてもらうと、積極的に外に出て活動されているなど率直に感じましたが、先ほどから意見が出ていましたとおり、次回までの具体的な改善については、もう少し具体的な記述ですとか手法的なところを計画に盛り込まれた方が良いと感じました。

法人代表（いずみ苑事務長）

長岡市さんから、求められるものに対して職員体制が厳しいというお話がありました

が、市としては何か施策的なものはあるのでしょうか。

↓

長岡市栃尾支所市民生活課

長岡市は地域密着型サービスの指定とか管理監督の権限を持っている訳ですので、そういうところは改善できるようにしたいと思いますが、なかなか厳しいのが現状です。実態を伝えて検討していきたいと思います。

法人代表（いずみ苑園長）

小規模多機能は良い制度だと思いますが、改善点もありますので、こちらも具体的に提案していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

小規模多機能型居宅介護わしま

特別養護老人ホームご家族代表から地域に向けての話がありましたが、私たちは地域という言葉にとらわれ過ぎているのかなと…。利用者本人の生活というものを見落とし、地域ばかりが頭に入っているのかなと思いました。私たちも同じ評価をした中で社会資源を知ろうということで、和島のマップを作るという項目を挙げましたが、和島の社会資源を挙げていくのも大切なことではありますが、その社会資源が利用者一人ひとりにどうかかわりを持っているのか？マップとアセスメントを上手くリンクさせて支援して行けたら良いのかなと感じました。私たちもそういう風にやって行こうと考えています。

B. 事業所のしつらえ・環境

法人代表（いずみ苑園長）

小規模ということではなく、みやざわ苑全体の玄関が、物置場になっていて、整理整頓が必要と思います。きれいな花も植えてあるし、環境美的には良いが、細部に渡ってもう少し配慮が必要ではないかなと感じました。スペースがないと聞いてはいますが、工夫が必要と思いました。

特別養護老人ホームご家族代表

1について、家族は入りやすいと思いますが、地域はどうかと疑問があつて悩みましたが、項目が別にあつた方がいいですね。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

家族と地域では受け止め方が違う件ですが、昨年も同じような話が出ました。地域のかたが気軽に来られるのは良いが、防犯の観点もあり程度が難しいという意見もいただ

きました。その後に障害者施設の大きなニュースもありましたので、人によってとらえ方が違って来ると思います。

地域包括支援センターとちお

0について、「わからない」にチェックしましたが、地域への働きかけ等の動きが良く分からなかったです。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

昨年、玄関とかが施設・施設しているので、用がある人でないと入りにくいという意見をもらいましたので、小さい看板は作りました。花植え等は家族協力会から協力してもらい行うことはできましたが、地域全体への接点作りは進んでいないのが現状でした。

地域包括支援センターとちお

他の施設さんで、スーパーにボランティア募集等のポスターを貼っているのを見たことがありますか、そういうのは行っていますか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

いないです。今後取り組んで行かなければならないと思います。

C. 事業所と地域とのかかわり

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

地域としては、地域の活動に参加するという事で、ゴミ拾いや落ち葉拾い等活動されていますが、地域と一緒にやろうという形で、地域が参加を受け入れて行くには、まだそこまでの下地が地元としては無いように思うので、その辺できることはどういうことか等をつめて行く必要があると思っています。

特別養護老人ホームご家族代表

地域の老人クラブの活動の中で、何かできることはないか等の話をする機会を持つと良いと思います。例えば、宮沢にお地藏様を祀ってありますが、そこに関わっている数人が月1回お茶飲み会をしているとのことなので、お地藏様を軸にして懇談会みたいな形で参加できれば、地域とのかかわりが生まれてくるのかなと思います。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

事業所からアピールして行く項目になるのかなと思いますので、こちらから声を出していきたいと思います。

小規模多機能型居宅介護わしま

3について、福祉に勤めている職員は、包括支援センターとか居宅介護事業所が相談窓口ということは分かると思いますが、地域の方は福祉施設は全般に介護の相談ができる場所と思っているかたが多いと思いますので、まずは福祉施設も相談窓口の一つとして、相談の内容によっては、事業所から包括や行政につなげていく等の役割を果たして行けるような事業所のアピールの仕方も必要なのではないかと感じています。

特別養護老人ホームご家族代表

「老後の相談受け付けますよ」と認識してもらえるようなアプローチすることも大事だと思います。そうすることにより相談したい人が気軽に集まって来るのではないのでしょうか。非常に大変なことだと思いますが、ここから発信して行ければ広まって行くと思います。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

一般の人が、こういう時はここに行けば良いと言うことを分かっていないと思います。ここには利用という形で来られる訳で、相談で来られたのは1件だけでした。その時は包括につながりましたが、ここで解決できなくても気軽に相談に来ていただければ良いと思います。

↓

特別養護老人ホームご家族代表

地域とかかわるということは、そういうところに本質があるのではないかと思います。

地域包括支援センターとちお

相談機関としては看板を挙げられないと思いますが、地域の資源を把握していく中で、お気軽に何かあったらご相談ください。的な方法で、その窓口につなげる等の支援をして行ったら良いと思います。

↓

特別養護老人ホームご家族代表

わざわざ窓口に行かなくても、相談窓口からこの場所に出張してもらう機会を設けて、何か相談事がある人は来てください。という形が取れると良いと思います。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

法人代表（いずみ苑事務長）

ここにチェックを入れる際「わからない」に入れましたが、その理由は資料が何もない

いためで、運営推進会議の経過報告の中で、参加者の人数とかを入れて、どの位の規模で行われたかを示す等、具体性があると分かりやすいので、そのようにしてもらいたかったです。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

確かに少ない資料の中で判断するのは難しいだろうなと感じました。

E. 運営推進会議を活かした取組み

地域包括支援センターとちお

他の小規模さんでも話題に出ましたが、地域のかたを交えた会議というのが、小規模の利用者に限定していませんし、地域の課題として何かなければ設定はなかなか難しい。さっきご意見が出た心配なことを気軽に相談できるような機会が出てくるとクリアできる部分もあるのかなと感じました。

長岡市栃尾支所市民生活課

先ほどの意見とも重複する部分がありますが、利用者本人が住んでいる地域のかたを交えた会議は、当初みやざわ苑さんの地域のかたとの認識でいましたが、改めて読んでみて、本人さんが住んでいた地域ということになると実行は難しいと感じています。今後クリアしていくには高齢者の総合窓口を持っていないと前進させるのは困難であり、一朝一夕では言えないと思いました。

地域包括支援センターとちお

例えば、宮沢地区で徘徊が心配なかたがいたとした場合、ご家族、ご親族に了解をいただいた上で、みやざわ苑に情報提供して、送迎等の時に気にかけてもらう方法もここに該当するのかなと思いました。そういった協力をしますよ的なアピールをしてもらったら良いと思います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

小規模の想定が半径2kmとか3kmとか、長岡でいうと川崎地区だけとか、そういう想定なのだと思いますので、みやざわ苑のある宮沢地区だけとかであればできる可能ではあると思いますが、この場合、栃尾全域ですので少し違うのかなと思います。

地域包括支援センターとちお

包括にいますと徘徊者の相談が時々ありますが、栃尾地区まで来られるかたがいられますので、今後心配なかたがいた場合みやざわ苑に情報提供させていただき、お願いし

ていくのもいのかなと思いました。

小規模多機能型居宅介護わしま

和島の方で春先に、包括支援センター主催の地域の多職種連携会議が行われました。和島地域の歯医者さん、銀行、D r 等含め、地域の社会資源と言われる所の職員が集まって地域の一人暮らしの徘徊者にどういった支援ができるかという研修の場がありました。その際、小規模のご利用者で外出はするが帰り道、家が分からなくて、地域のかたに助けてもらっている人がいて、そこで相談をかけました。そのかたは、お医者さんや農協、色々なお店にも行きますので、それぞれの所に立ち寄った時には連絡をいただきたいと話をしたところ、何回か電話が来て迎えに行き対応したことがありました。地域のかかわり方も色々あるのだなと思いました。

地域包括支援センターとちお

2、3が難しいところで、他の施設でも悩んでいるところですが、運営推進会議で地域の心配のかたの事例検討が実際できるだろうか。どういうことを想定しているのか未だに良く分からなくて、作った人はどういうことを目的にしているのか…？

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

一律で来ているものなので、どこの事業所でも設問自体が分かりづらいという話があります。市の方からは、小規模は地域密着型なので、現時点では難しいところもあるかと思うが、将来的には地域を交えて行えるよう、事例検討まで行かなくても、ちょっと心配なかたがいるのでと、気楽にこういう会議に出せる環境から始められればということでした。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

利用者から自発的に、とても困っているの、そこを利用しているし、運営推進会議で色々相談させてもらいたいというのはあると思いますが、運営推進会議の側からというのは良く分かりません。

小規模多機能型居宅介護わしま

地域で心配のかたの事例検討は地域ケア会議があります。小規模の登録者以外の地域の問題を、運営推進会議で取り上げて話し合うというのは、プライバシーの問題もありますし、どう取りかかったら良いのかというのが正直のところでは。

小規模多機能型居宅介護管理者

このチェックでは意見も出にくいと思いますので、運営推進会議自体をもっと進めていくために意見がありましたらお願いいたします。

↓

法人代表（いずみ苑事務長）

たまたま他事業所の運営推進会議の資料を目にする機会がありましたが、もう少し具体的、個別的なものになっていました。もっと情報を得やすい資料にして行かないと「わからない」にチェックを付けてしまう傾向になると思います。

F. 事業所の防災・災害対策

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

地元の防災訓練を10月に行いましたが、その時は宮沢区のみで実施しました。みやざわ苑には声をかけませんでした。今後はすり合わせをした上で参加してもらう方向で持っていきたいと思いますが、宮沢区以外の泉や東谷地域にも声をかける等も良いと思います。

特別養護老人ホームご家族代表

先ほど施設長から説明のあった、火災の場合はこうする、水害の場合はこうするという大事なものを大きく書いて掲示してあると良いと思います。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

刈谷田川の水害が一番心配されることだと思いますが、夜間職員が5人しかいない状況で、職員の招集はどこで判断されるのですか。車椅子を上げるのに職員4人必要なのに、夜間の5人体制では問題があるのではないかと考えています。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

火事の場合は連絡網と他自分で気付いた人が来苑する。地震の場合は震度5弱で役付者職員が、震度5強で全職員が来苑することになっています。水害想定は避難準備情報で全職員来苑。他連絡網も発信することになっています。避難準備情報が比較的早い段階で出てしまうことがありますので、その判断が難しいと思っています。

法人代表（いずみ苑園長）

刈谷田福祉会として、いずみ苑はいずみ苑で、みやざわ苑はみやざわ苑で、水害・地震・火災等それぞれマニュアルを作っていて避難ができる体制になっています。今は何が起こるか分からない時代です。国・県等から通知が来ていますので、それに見合った対応、訓練等をして行く必要がありますが、まだまだ地域の人との協力については不十分だと思いますので、法人全体で協力体制をどういう風にしていくか検討していかなければならないと思っています。

4. その他

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

時間が大分過ぎていまして大変申し訳ありませんが、何かありませんでしょうか。

長岡市栃尾支所市民生活課

市として、介護ヘルパー職の助成金制度が設けられ提供されていますので、一つの対策として補足させていただきます。

閉 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

大変長時間に渡りありがとうございました。これで第10回運営推進会議を終わります。大変ありがとうございました。

○ 第11回運営推進会議開催日について

平成29年 2月16日（木曜日）13：30～14：30